

国立大学法人東京工業大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>2 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>【3】水準 学士課程では、社会課題の解決につながるような多様な視点を持ち、専門力を発揮できる基礎的な能力を養成する。</p> <p>方策 ・異なる専門分野を系統的に学修するプログラムを学士課程に開設する。 ・専門分野の基礎学力を向上させることはもとより、多様な経験を選択できるように、学士特定課題研究と、特定課題プロジェクトの履修のあり方を変更する。 ・オンライン教育を含んだ多様な教育を実施するためのDX環境を整備する。 ・多様性を育んだり、主体性を育てたりする融合科目、全学横断科目に基づく複合領域コース科目、他大学との連携科目、国際経験プログラムなどを提供する共通組織を設置する。</p> <p style="text-align: right;">【指定国構想】</p>	<p>2 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>【3】水準 学士課程では、社会課題の解決につながるような多様な視点を持ち、専門力を発揮できる基礎的な能力を養成する。</p> <p>方策 ・異なる専門分野を系統的に学修するプログラムを学士課程に開設する。 ・専門分野の基礎学力を向上させることはもとより、多様な経験を選択できるように、学士特定課題研究と、特定課題プロジェクトの履修のあり方を変更する。 ・オンライン教育を含んだ多様な教育を実施するためのDX環境を整備する。 ・多様性を育んだり、主体性を育てたりする融合科目、全学横断科目に基づく複合領域コース科目、他大学との連携科目、国際経験プログラムなどを提供する共通組織を設置する。 ・<u>情報理工学院において、高度情報専門人材の育成の推進に資する施策を開始する。</u>また、<u>大学・高専機能強化支援事業の制度を用いた情報理工学院の定員の増加</u></p>	<p>令和6年度に学部・研究科等の教育組織の設置や入学定員の変更を行うため。</p>

<p>評価指標</p> <p>[3]-1 多様な視点をもって専門力を発揮できる基礎を築くものとして、学士特定課題研究及び特定課題プロジェクトの履修の在り方を改善するとともに、自身の専門分野以外も系統立てて学ぶ学士課程向けの広域履修制度を新たに複数プログラム設置する。</p> <p>[3]-2 主に学院によらない横断的な授業科目を提供し、学生の多様な学びに資するための新たな共通組織を、第4期中に設置する。</p>	<p>分については、<u>社会における人材ニーズ等の分析を踏まえ、令和13年4月に大学全体で同規模の入学定員減を行う方針である。</u></p> <p style="text-align: right;">【指定国構想】</p> <p>評価指標</p> <p>[3]-1 多様な視点をもって専門力を発揮できる基礎を築くものとして、学士特定課題研究及び特定課題プロジェクトの履修の在り方を改善するとともに、自身の専門分野以外も系統立てて学ぶ学士課程向けの広域履修制度を新たに複数プログラム設置し、<u>及び学士課程の改組に向けた準備を行う。</u></p> <p>[3]-2 主に学院によらない横断的な授業科目を提供し、学生の多様な学びに資するための新たな共通組織を、第4期中に設置する。</p>	
---	---	--

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	理学院 604人 工学院 1,450人 物質理工学院 742人 情報理工学院 372人 生命理工学院 620人 環境・社会理工学院 544人 (収容定員の総数) 4,332人
研究科等	理学院 464人 工学院 1,461人 物質理工学院 1,081人 情報理工学院 420人 生命理工学院 492人 環境・社会理工学院 951人 (収容定員の総数) 修士課程 3,088人 博士後期課程 1,701人 専門職学位課程 80人

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	理学院 604人 工学院 1,450人 物質理工学院 742人 情報理工学院 532人 生命理工学院 620人 環境・社会理工学院 544人 (収容定員の総数) 4,492人
研究科等	理学院 464人 工学院 1,461人 物質理工学院 1,081人 情報理工学院 420人 生命理工学院 492人 環境・社会理工学院 951人 (収容定員の総数) 修士課程 3,088人 博士後期課程 1,701人 専門職学位課程 80人